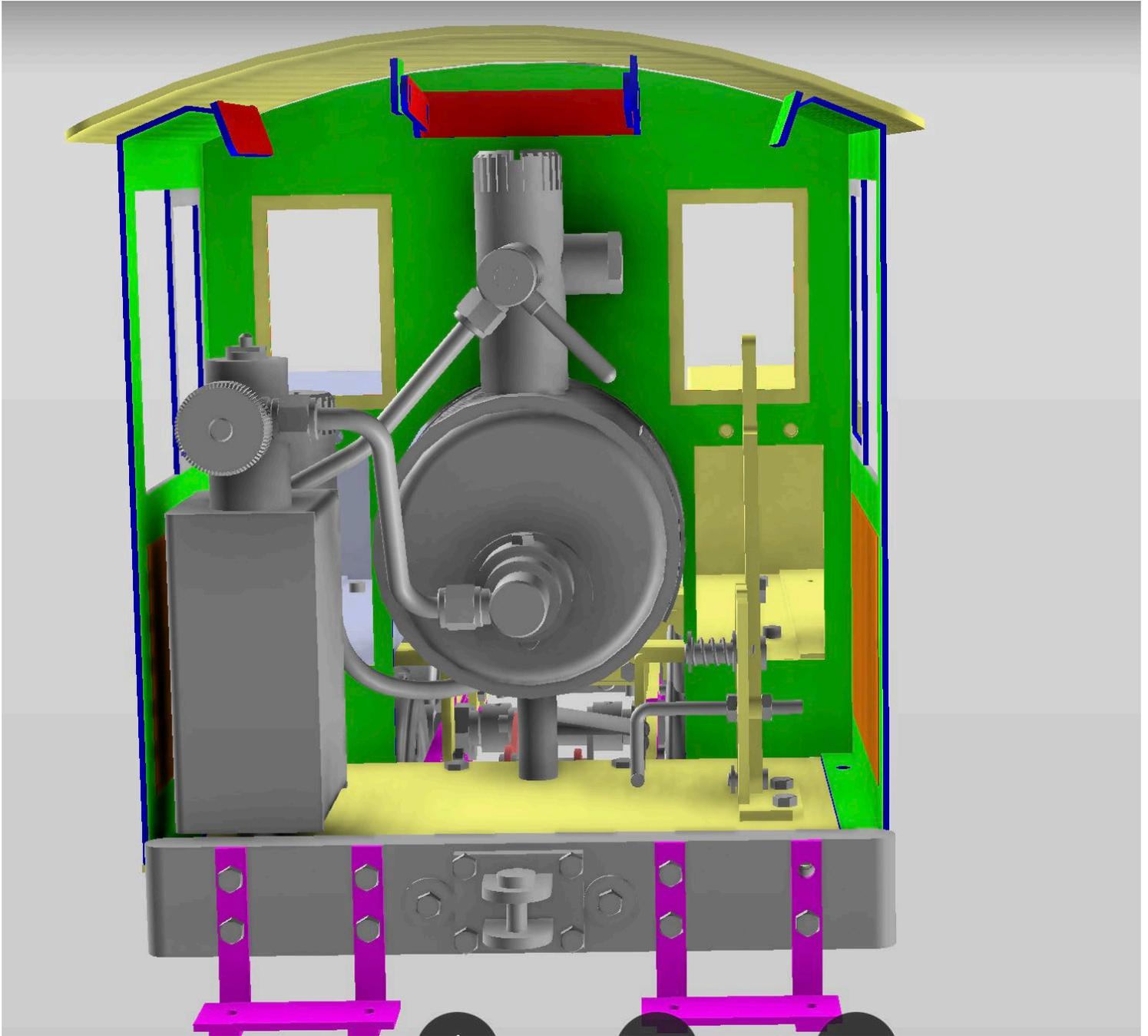


おかげさまを持ちましてルビーこんな感じに変わります

新 Dora こと、LAURA は、抜本的に根本的な改造されますが(しかもリリースが予想に反して早くなるかもしれません?) Ruby はこんな感じに変わります。



オリジナルを見て驚いたのは、キャブがスポッと外れる仕様であった事です。「**変えます**」また、RC 入門用のモデルでもあるのでダミーのサイドタンクに受信機やバッテリーを収め易くするように変えています(上イラスト参照)。昔はワイヤーカットとハンド工具で加工されていたようですが、ここら辺の精度レベルは「日本標準加工公差」の基準に改めます。要はいい加減な組み立ては効かなくなるという事です。当初この辺もスポットにしてお客様に組み立てさせないよに?と考えていましたが、価格帯は維持したいので、旧来通りの形になります。初期日本製ロットは200台です。

ドイツ型の新規モデルのリリース予定を尋ねるドイツ人が多いんです!

理由は以下になります。

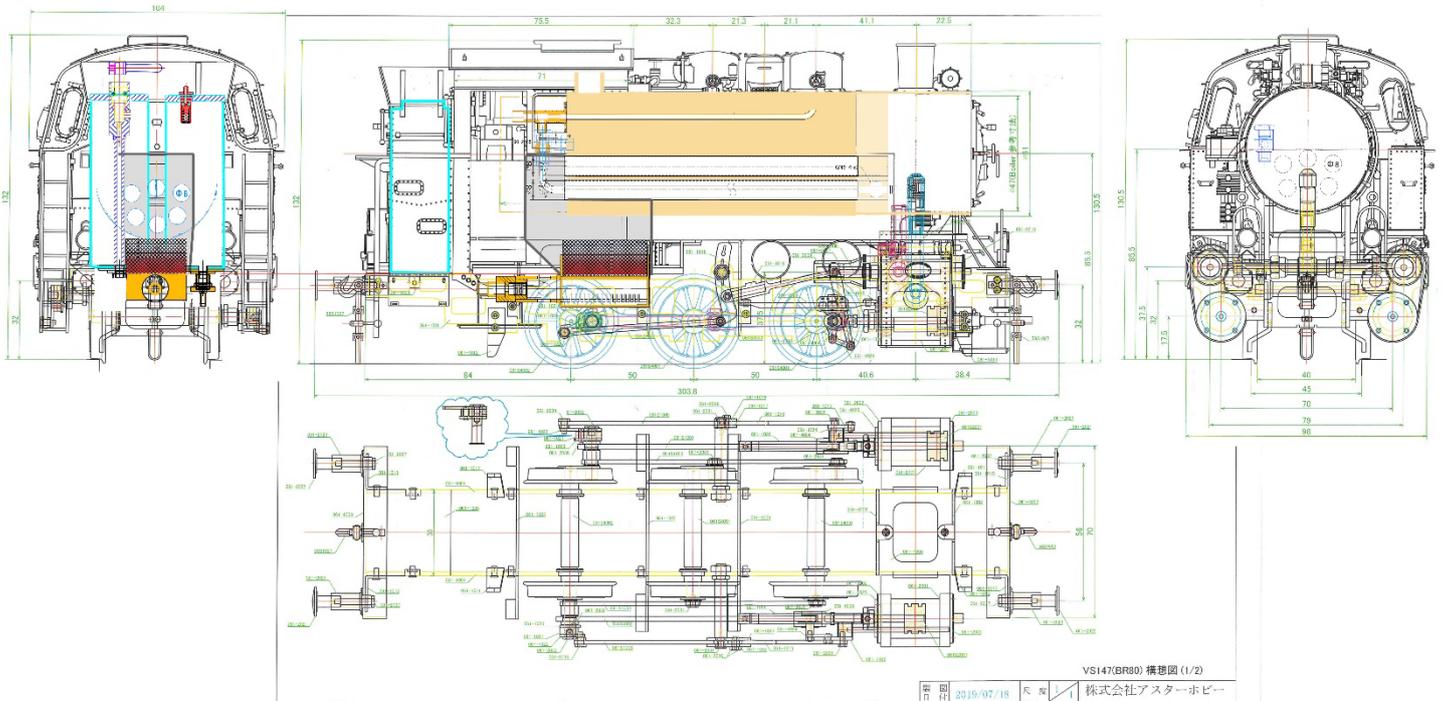
「すでにお知らせしましたが、新しい展示会 TrainExpo.ch は、5月21/22日にチューリッヒ近郊のビルメンズドルフで開催されます。G1MRA は、スタンドと印象的なレイアウトを備えた大型のライブスチームテントで表現されます。Twerenbold (ASTERHOBBY EU) もそこにスタンドを持っています。

この展示会は、私たちのライブスチームの趣味を大勢の聴衆に紹介し、G1MRA の新しいメンバーを刺激して採用する絶好の機会を提供します。その際、来場者に、どの新しいモデルが期待されるかを尋ねられます。このことを念頭に置いて、興味のある訪問者にアスターの将来のモデルに関するニュースを提供できるかどうかをお聞きしたいと思います。そして確かに、BR01.10 プロジェクトの状況についても尋ねられます。アスターとの今後について、来場者に伝えたいことを教えてください。BR01.10 プロジェクトはまだ保留リストにありますか、プロジェクトはすでに停止していますか、またはパイプラインに他のプロジェクトがありますか。貴重なお返事をいただければ幸いです。」

これが理由だったのです。そこで我々の出した回答が以下になります。

「BR01 をもしやるとすれば弊社 50 周年記念モデルです。ということは 2025 年です。現段階では、候補ではあるが『決定的な候補！』とは決まっています。まずこのモデルをする場合、責任を持って、我々が希望する販売台数を確保できる、欧州、特にドイツ語圏での販売先が決まっています。Accucraft DE は力不足でしょう。Asterhobby EU は、非常に慎重な人たちなので、まだ何も反応がありません。

今手がけているドイツ型は、BR80 と BR995XX です。BR80 は、エントリーモデルとして考えていますが、設計担当は LNERB1 の設計者ですから、多分 Accu De の予想よりは少し(嫌、かなり?)凝ったモデルになるでしょう。小売価格を Accucraft DE でも楽に販売できる様リーズナブルに抑えるためにボイラーはセンチフルーのガス焚きです。



BR995XX はコンパウンドの Meyer type です。コンパウンドと Meyer 式の基本的な仕組みは私が考えています(お陰で今 CAD と格闘中です)中国の初期デザインでは、走らなかったそうです。BR96 と異なり前後の台車が回転軸を持って動くので、その解決が問題です。またドレンバルブは、BR96 の方法とは異なり、UP FEF と同じ方法にしていますので、よりリアルで信頼性は非常に高いと思います。ナローゲージモデルなので、R0.55 を通過できる様に設計をしています。(要は、シャーシ周りは全て再設計し直しました)

私はアクスルポンプを入れた方が良く考えるが、そうすると価格は、ナローゲージの価格帯をはるかに超え (BR96 より高くなる)るので、今回はオミットしようと考えています。ただ上手い人が、ユーティリティーカーを牽引接続でき、そこから給水できる用にしようとは、考えています。



最後に、昔ピンさんにアメリカのオフィスで依頼された Dora というオシレーティングエンジンの改良を、ドイツの Chiemsee Bahn



の Laura という箱型機関車で実現しました。これは Ruby よりも、もっとシンプルな構成のエントリーモデルになります。価格も非常に安く仕上げっていますが、私が設計したオシレーティングなので、Dora よりは、初心者でも簡単に走らせることができると思います。箱型のキャブは、シンプルな板金部品ですが日本の精密板金業者が手がけるので、組み立ても簡単になるとと思います。気になる点は、動輪が主連棒でエンジンと直結されているのでギヤダウンしていません。下手な運転や組み立てた方のモデルは暴走するかもしれません。ただ、BR01 の 3 気筒は、日本でも多くのファンがいて、超有名機で、私も個人的に好きな一台なので、なんとか実現したいと考えています。今後とも資料などがありましたらご提供の協力をお願いします。」

と書いています。今後とも資料などがありましたらご提供の協力をお願いします。」

そしてこの方以外に、気になる欧州のお客様への回答も以下に掲載しておきます。

「はい、何故か？ Asterhobby の製品愛好者には、若くしてパートナーを失った方とか、お子様がいないご夫婦などが少なくありません。その様な方の心の支えに弊社製品がなっていることは、望外に有難く感じております。ただ皆さん何故、精密な機械が、何故？ 動く理屈を理解できる程度の知識をお持ちなので、我々のブランドは、その様な方々を裏切らない製品を世に提供していくつもりです。」

予約分納品終了しました

他のモデルと、全く互換性が無い、RMN (リビルトマーチャントネービー) の安全弁。試作部品価格になる予定です。未調圧 1 個で 4000 円 (税送料別)。調圧治具は、無くなりました。が、安全弁若干数は在りますので無くならないうちに、お早めに。後で悔やんでももう再生産はしません (出来ません) 在庫、一応エア 3 気圧で調整してあります。



然し超困っています！

ケイ素が無い。珪素ってなんだ？ という事から始まっていますが、珪素を英語で書くと“Silicon” そうシリコンの O リングも！ サイズにより、国内在庫が枯渇しています。銅関係 (真鍮など) だけではなく、フッ素だけでなく、シリコンよ！ お前もか！ 状態です。これを言い訳に試作が進みません！ ガasket (ペーパーパッキン) も入手困難な状態です。今、フッ素だけでなくゴム製品全般の入荷時期と価格が異常な状態が引き起っています。北京オリンピックまでだと良いのですが、と祈っています。まあ。G6 諸国では With Corona で、人流往来制限を撤廃し始めています。ピンさん曰く感染力は強いけど重症化しないのだから何故なんだ？ という状態。其れが現政権下での日本の現状です。消耗品！ すぐには入手困難且つ、価格も尋常ではありません。ご注意ください。

即納可能です **Tiger with K2 Utility car**

長らくお待たせしました、SBB タイガーの、自動給水ポンプ、バイパスバルブ、そして強化バーナーが付属した K2 のユーティリティー部品が、到着しています。以降、日本在庫は、全てこの仕様に替えようかとも考えていますが、とりあえず即納分は残 4 台だけです。未だ国際物流の異常は、当分は正でないでしょう。ですから次回の入荷が何時になるという、お約束はできません。買える時が、ご購入の決断をする時です。チャンスをお見逃しなく。K2 の外装色は、ブラウン (欧州共通色) のみになりますご注意ください。K2 フルオプション付き Tiger KIT 価格 ¥375, 000 (税送料別) K2 ユーティリティー仕様 ¥105, 000 (税送料別) 詳しくは、こちらから:



http://www.asterhobby.co.jp/CL04_01/detail.php?id=167

K2 に関しては、こちらで: http://www.asterhobby.co.jp/CL04_01/detail.php?id=144